

北海道大学高等教育推進機構国際教育研究部主催  
(旧国際連携機構国際教育研究センター)  
2018年度 日本語・日本語教育研修会

言語教育において、文法項目や語彙などの知識より、コミュニケーション力や言語運用力などが重視される変化とともに、CEFRに代表される「Can-doにもとづいた課題遂行」という考え方は、日本国内、国外を問わず幅広く周知されるようになってきました。各教育現場では、この考え方を取り入れ、機関独自のスタンダードの作成に取り組む動きが見られており、北海道大学でも現在『北海道大学日本語スタンダード』をもとにしたカリキュラムが組まれています。本研修会では、このような流れを受け、Can-do形式によるシラバス構築における授業の手法、教材、評価などについて、具体的な活用事例を紹介しつつ、参加者の皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

とき : 11月23日 (金) 10:30~16:00 (10:00 受付開始)

ところ : 北海道大学学生交流ステーション (旧国際教育研究センター) 2階大講義室 (209)  
(マップ : [https://www.oia.hokudai.ac.jp/cier/?page\\_id=232](https://www.oia.hokudai.ac.jp/cier/?page_id=232))

プログラム :

講演 (10:30~12:00)

「『JF 日本語教育スタンダード』とその活用事例」

上原由美子 (国際交流基金日本語国際センター・専任講師)



ランチ休憩 (12:00~13:00)

『北海道大学日本語スタンダード』にもとづく実践報告 (13:00~14:30)

①「中級理解(基礎)3における文法・語彙学習の位置づけ」

小林由子 (北海道大学高等教育推進機構)

②「社会的事象を多角的に理解することを目指した授業実践」

—日本語上級理解科目における試み—

佐藤梓 (北海道大学高等教育推進機構)

③「社会と“つながる”日本語上級レベルのクラスデザインを検討する」

—北大日本語教育スタンダードに照らし合わせて—

式部絢子 (北海道大学高等教育推進機構)

全体ディスカッション (14:45~16:00)

閉会の挨拶 (16:00)

事前申込 : <https://goo.gl/forms/awVSXIkNWHCgKJ7C2>



人数把握のため、参加ご希望の方は11月21日(水)までにご入力下さい。

問い合わせ先 : 鄭恵先 (チョンヘソン) ・高等教育推進機構 (旧国際連携機構国際教育研究センター) [jung\[at\]oia.hokudai.ac.jp](mailto:jung[at]oia.hokudai.ac.jp) ※ [at]は@に置き換えてください。